

安心&おトク  
自治労連共済

# 春のキャンペーン (4月1日~6月30日)

## もしもの時の病気や火災など大変役に立ちます

### 組合自主共済だからできる

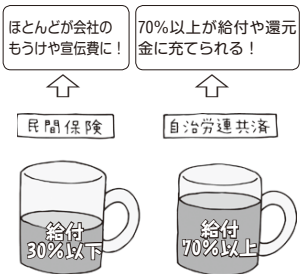
自治労連共済は、掛金の7割を給付と個人還元金に充てることを基本に運営し、組合員相互の助け合い制度として、組合員と家族のリスクに対し安い掛け金で厚い保障を実現し、信頼と実績を築いてきました。

全国の仲間の多くの加入によって、先の東日本大震災において、被災された仲間に総額20億円を超える見舞金、共済金を支払うことができ、生活再建を助けています。

火災共済では、民間の地震保険の平均支払額が162万円に対し、火災共済加入者に平均100万円を超える見舞金をお届けしています。

このように自治労連共済は、莫大な宣伝費を使わず、もうけないので、安い掛け金で充実した保障の保険制度となっています。しかも剰余金は毎年還元されます。

「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」みんなで助け合う自治労連共済にぜひ加入してください。



### 新規加入者を含むすべての加入者にすてきなプレゼント

新規加入者・加入者の中から抽選で

- 特別賞 iPodまたはWii (1本)
- 1等 3万円旅行券 (1本)
- 2等 1万円商品券 (10本)
- 3等 千円図書カード (40本)

〈新規加入者・追加加入者すべてに図書カードプレゼント 1件につき1000円〉

新入組合員・対象者にはセット共済「10型」を1年間プレゼント

プレゼント対象者

- ・2007年4月以降採用者で、2007年4月1日~2012年6月30日までに組合に新規加入した組合員を対象とします。
- ・2003年4月以降採用者で、2003年4月1日~2012年3月31日までに、組合に加入した組合員を対象とします (現在、組合員で共済未加入)。

### 安心1

## セット共済

加入対象		本人・配偶者
		10型
入院保障 (日額)	月掛金	1,040円
	病気入院 入院1日目から	2,000円
	不慮の事故 1日~180日	4,000円
通院保障 (日額)	病気	1,000円
	不慮の事故	1,000円
	交通事故	1,500円
死亡・重度障害	病気	100万円
	不慮の事故	200万円
	交通事故	400万円
後遺障害 (労基法施行規則別表3級~14級)	病気	90万円~4万円
	不慮の事故	180万円~8万円
	交通事故	360万円~16万円
手術見舞金 (1回につき) 145種類の手術対象 (日帰り可)		30,000円

病気入院は1日目から給付  
日帰り入院も給付対象です (1日~180日)

通院だけでも給付

ライフスタイルにあわせて  
いろいろなセット型も  
あるよ



## 共済のある組合は安心

バイク事故で通院だけでも給付! 助かりました

セット10型加入 月掛金 1,040円

給付合計金額 107,500円

交通事故 41日 ケガ不慮 41日 診断書 1件

はいつてもよかった!



### 安心2

## 火災共済

たとえば 月々125円 (木造250円) の掛金で⇒最高500万円の保障

年間掛金	構造	持ち家にお住まい	借家にお住まい
1500円 (月125円)	耐火	家財の保障 200万円	家財の保障 500万円
3000円 (月250円)	木造	建物の保障 300万円	



一人暮らしの方にも役立っています

火災共済がカバーするのは火事だけではなく、実は保障しているケースが意外に多いのが「落雷」! 落雷でパソコンが壊れたなどの家電製品への保障です。身近な事故を保障する火災共済には加入しておきましょう。



他人の車が飛び込み、門がこわれた



落雷でパソコンなど家電製品が故障した



洪水で床上浸水となった



台風で屋根瓦が飛ばされた (10万円以上の損害の場合)



泥棒の侵入でドアや家具を壊された (5万円以上の損害の場合)



上階の他人の居室からの漏水で、壁にシミが生じた

### 3・15大阪総行動ナースウェーブ



## 安全・安心の医療実現! 働き続けられる労働条件を!!

守る政治実現へ力をあわせよう」と訴えました。大阪労連の宮武正次事務局長の情勢報告、大阪自治労連や化学一般などから決意表明が行われました。

集会に続いて市内をデモ行進し、「大企業は内部留保を還元し、社会的責任を果たせよ」と唱和しました。夕方16時からは梅田にあるダイキン工業前で抗議集会が行われ、不当解雇の解決を訴えました。

18時からは、大阪市役所前で開催された「橋下市長の権利侵害許すな! 市役所労働者激励集会」に府職労も参加し、「不当労働行為のデパート」と化した橋下市政に抗議し、市役所に働く仲間を激励しました。

同日は、女性労働者による「なにわ女の菜の花行動」も展開され、総勢2万人が春闘勝利をめざして行動しました。

ナースウェーブ実行委員会は、医療・福祉・介護の充実を求め、3・15全国統一行動を取り組みました。午前中の大阪府交渉には、地域医療、看護、介護に分かれ60名が参加しました。地域医療では、救命救急に対する大阪府の責任の追及と、地域医療の確保と医師不足の解消について交渉をしました。看護では、昨厚労省が出した看護師の雇用の質の向上についての通達を有効なものにするべく、企画委員会への労働組合の参加を認めるよう求め、検討したいとの回答を得ました。また、看護師の需給計画では2014

年には看護師が余ることになるといわれると追及すると、そのようには思っていないとの回答で、潜在看護師の復職のための研修と離職防止に努力したいとの回答でした。介護では、介護労働者の確保と賃金・労働条件の改善、「介護難民」の解消を訴え交渉しました。

午後からは、大阪総行動にも参加し、3時から大阪会館で2300名の参加で、交渉の報告と「貧困を考えよう」と題して大阪野宿者ネットワーク代表の生田武志さんのお話を聞きました。

貧困が、仕事を引退した世代から働き盛りや女性へと拡大し、子どもの貧困率は13.7%で、子どもの「7人に1人」が貧困状態。「大阪の野宿者の医療状況は、海外の難民キャンプのかなり悪い状態に相当する」(国境なき医師団) 若者のホームレス襲撃が後を絶たなく、襲撃した若者は「何ぼでも仕事はある。おっさんはやる気がないだけ」という。派遣切りになれば、明日から暮らす家もなくなる、日本の労働者の働き方を変えていく運動の重要性を痛感した講演でした。